

公共交通に関する実態・ニーズ把握調査等の実施について(概要)

1 調査別詳細

調査名	目的	方法	項目
路線バス乗降調査	町民の日常の移動実態や公共交通の利用状況と町内公共交通の問題・課題等を把握すること。	調査員が路線バス（大槌町民バス、岩手県交通バス）に乗り、乗客への聞き取り調査等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・乗車目的 ・利用頻度 ・他の公共交通機関への乗り継ぎ ・令和2年12月16日のダイヤ改正以降の利用状況 ・その他意見
町民アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の日常の移動実態や公共交通の利用状況と町内公共交通の問題、課題等を把握すること。 ・現行計画の目標指標（KPI）の達成状況を把握するための基礎資料とすること。 	郵送による調査で、配布枚数は1,200票とし、町民のうち無作為抽出（地区別、年齢別など）とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・お出かけの回数 ・現在の生活状況 ・公共交通の利用状況 ・お出かけ環境の改善 ・その他意見
住民ヒアリング調査	地域公共交通の課題や改善策について、交通不便地域の声を把握、整理するため実施すること。	地域住民で構成する団体の長等、他10名程度への聞き取り調査を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・外出状況 ・公共交通の利用頻度 ・公共交通で困っていること ・その他意見

2 その他

町民アンケート調査は、現行計画の策定時に実施したアンケート調査票、参考資料 2をベースとし、主に次の項目について修正を行う。

- (1) 削除：応急仮設住宅の供用等に関連する質問項目
- (2) 追記：令和2年12月16日のダイヤ改正以降の利用状況について把握する項目
- (3) 追記：三陸鉄道の利用状況について把握する項目
- (4) 追記：タクシーの利用状況について把握する項目